



アイ・エム・アイ株式会社

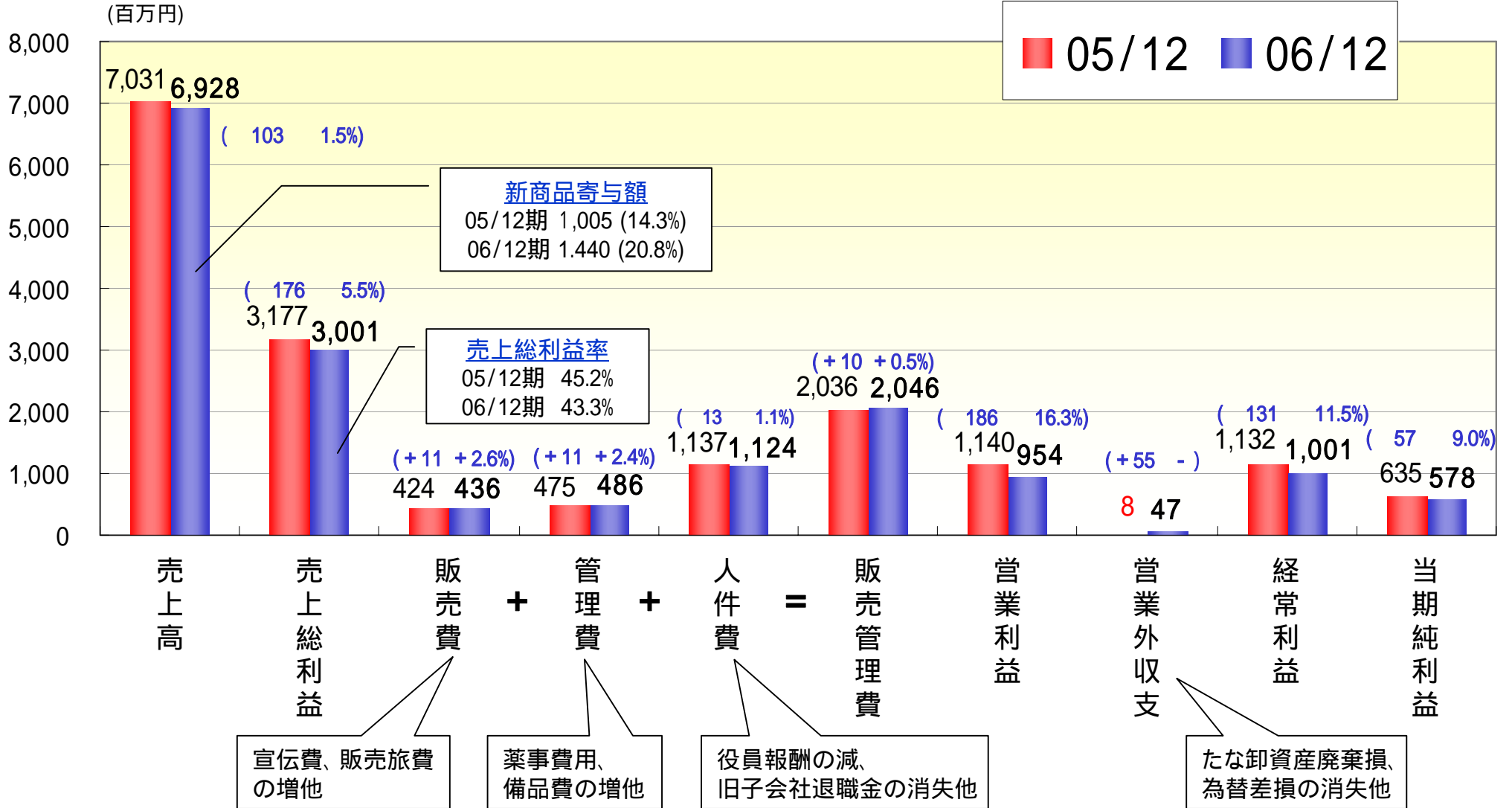
2006年(平成18年)12月期決算アナリスト説明会発表資料

於 東京証券取引所 6階 アナリスト協会会議室

2007年(平成19年)3月14日(水) 午後3時30分 - 4時30分迄

この資料に関するお問い合わせは 社長室 三原[Tel 048-988-4472 Fax 048-961-1350]までご連絡下さい。

2006/12期 対前年比較損益 (前年は連結)



商品・メンテナンスの売上マイナスに円安や販売管理費増加も重なり、減益

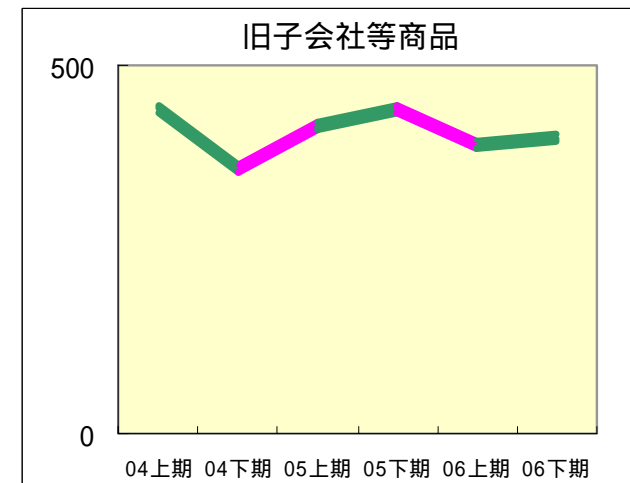
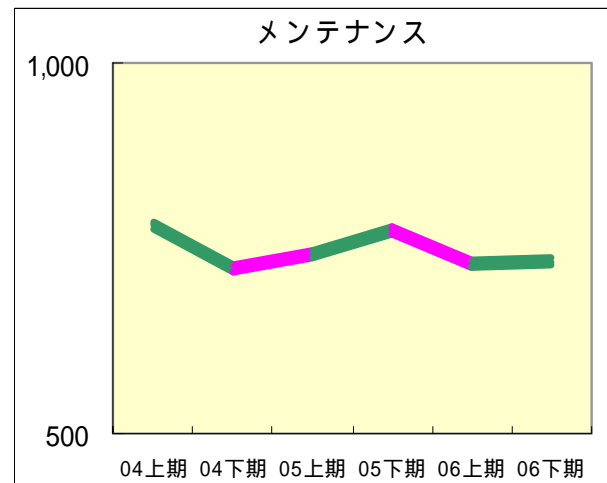
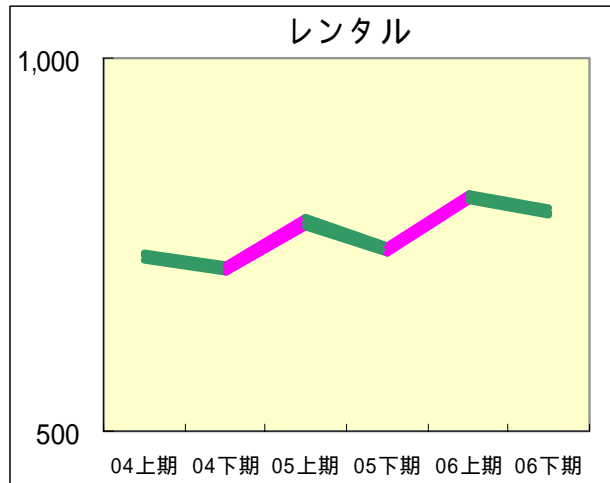
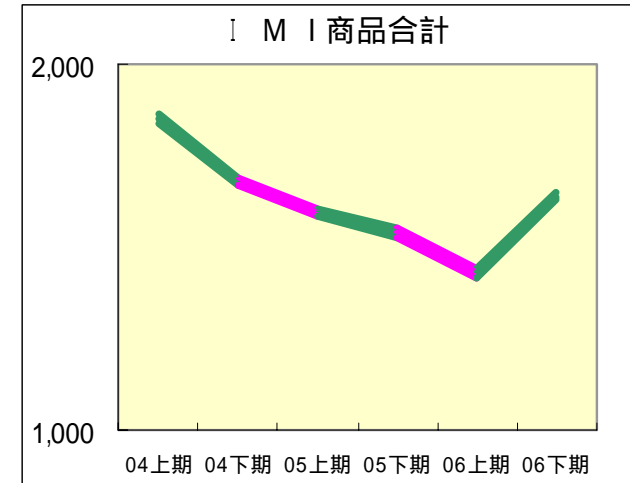
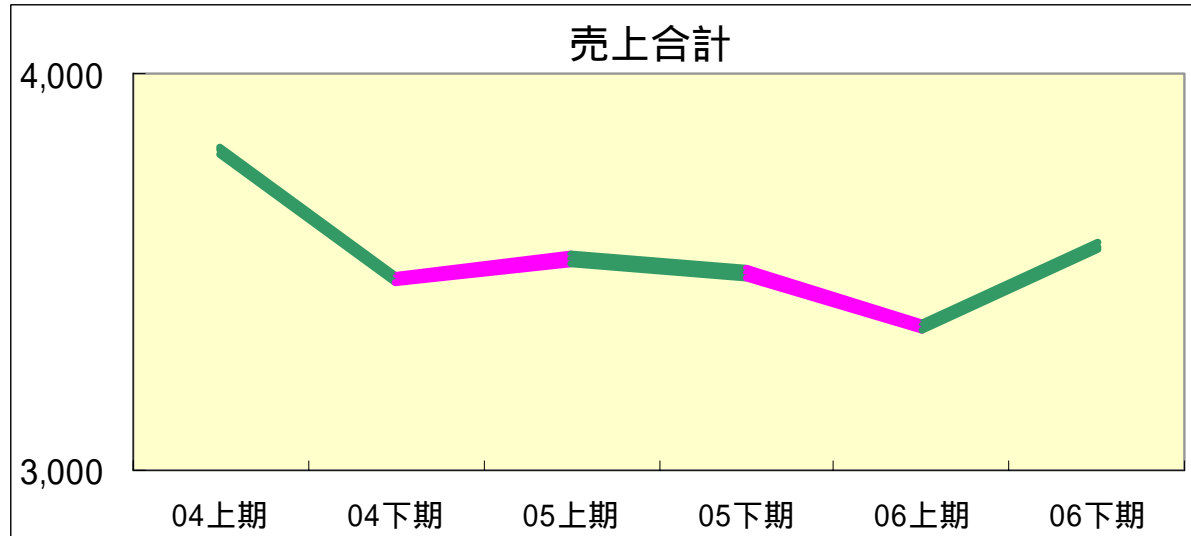
2006/12期 売上実績(前年は連結)

(百万円)

	前年比較					計画比較				
	05/12	06/12	前年比	一部メーカー 契約満了分	その他	計画	計画比	内新商品	その他	
生体機能補助・ 代行機器	1,489	1,574	6%	85	17	102	-12%	205	13	218
生体现象計測・ 生体情報モニタ	744	503	-32%	241	304	63	-7%	35	64	29
その他商品	898	991	10%	93		93	-5%	52	172	120
IMI商品小計	3,131	3,068	-2%	63	321	258	-9%	292	223	69
旧子会社等取扱商品	858	791	-8%	67		67	11%	81		81
レンタルサービス	1,525	1,608	5%	83	24	107	-7%	122	50	172
メンテサービス	1,517	1,461	-4%	56	20	36	-9%	139		139
合計	7,031	6,928	-1%	103	365	262	-6%	472	173	299

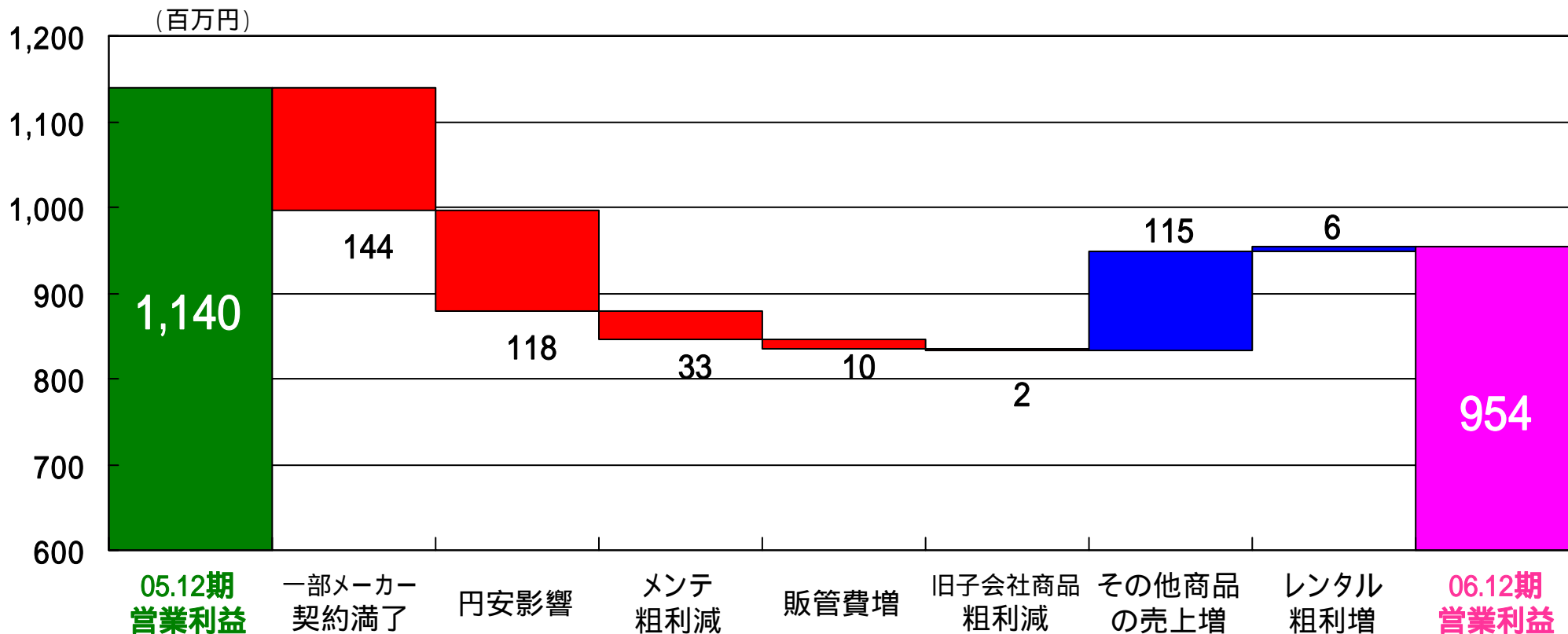
2006/12期 半期別売上実績(05上期まで連結)

(百万円)



一部メーカーとの契約満了による事業へのマイナス影響は上期で終わり、下期から売上はV字回復の兆し

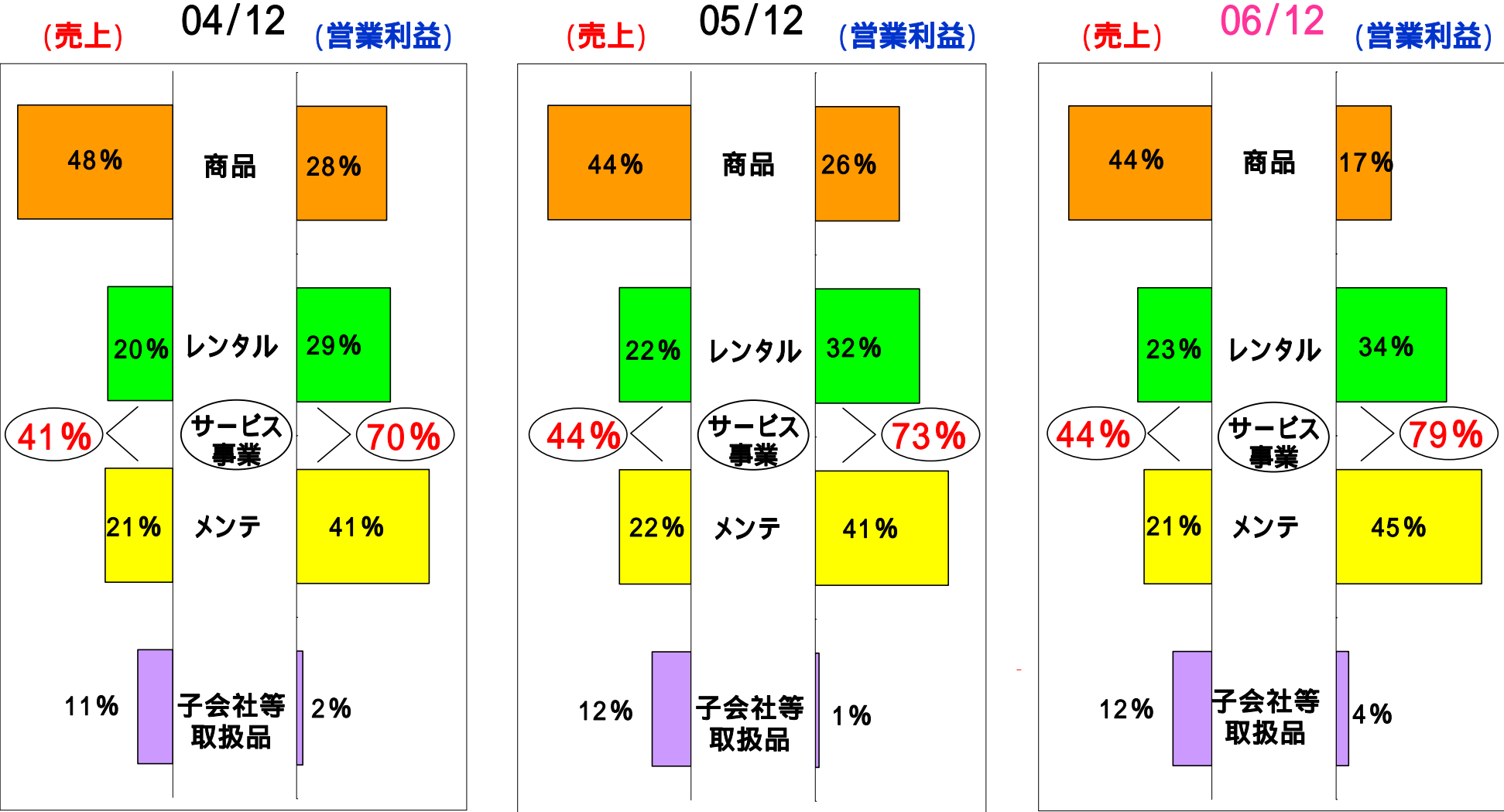
2006/12期 営業利益対前年比 **186百万円減少** 要因



円安影響
 06平均為替レート\$1=¥117.9[前期比¥6.8(6.1%)の円安]の影響等で、118百万円の原価増 (\$レート1円円高(安)の売上総利益への影響 年間約15百万円)

**一部メーカーとの契約満了による売上減・円安による原価高・メンテ粗利減・広告宣伝費増等がマイナス要因
 その他商品の売上増・レンタル粗利増がプラス要因**

2006/12期 売上と営業利益の実績構成比率表 (前年までは連結)



05/12の営業利益は発表値を訂正しました

売上減少や円安による原価アップで商品の営業利益が減少。サービス事業の営業利益構成比率は79%まで増加

2006/12期 キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

営業活動による キャッシュ・フロー				738
税引前純利益	994	減価償却費	489	
法人税等の支払	421	売上債権の増	192	
たな卸資産の増	151	その他	19	
投資活動による キャッシュ・フロー				806
有形固定資産取得	370	有価証券の取得	295	
無形固定資産取得	171	その他	30	
財務活動による キャッシュ・フロー				258
配当金の支払	258			
キャッシュ・フロー 合計				326

現金及び現金同等物

(期首残高)	3,804 百万円	—————▶	(期末残高)	3,478 百万円
(1株当り)	667 円	—————▶		609 円

**税引前純利益の減少に、売上債権やレンタル投資の増加、
有価証券取得（MMFから債券に切替）等も影響し、CF合計はマイナス**

2006/12期 貸借対照表の主な増減(前年は連結)

(百万円)

	05/12	06/12	増減
流動資産	7,183	7,479	296
固定資産	3,599	3,643	44
総資産	10,783	11,122	339
流動負債	1,305	1,327	22
固定負債	429	451	22
純資産	9,048	9,343	295
株主資本比率	83.9 %	84.0 %	0.1 ポイント
総資産回転率	0.66 回	0.63 回	0.03 回
回収日数	82 日	93 日	11 日
在庫日数	110 日	124 日	14 日
支払日数	61 日	58 日	3 日

売掛金	+ 196
たな卸資産	+ 174
有価証券	+ 105
現金及び預金	166
その他	13

12月の売上増加

総資産及び純資産は増加しているが、資産の稼働率や在庫回転率など、効率面の課題が継続

2006/12期 設備投資等の動向(前年は連結)

(百万円)

	01/12	02/12	03/12	04/12	05/12	06/12	07/12 (計画)
設備投資額	452	268	345	332	741	436	570
減価償却費	388	361	356	355	399	489	500

内 レンタル投資	172	189	238	200	604	330	390
同上 減価償却費	263	231	218	207	253	348	323
同上 償却残高	537	487	501	483	820	770	837

IT投資	189	67	98	110	129	102	170
(リース含むIT投資)	(202)	(67)	(98)	(110)	(129)	(102)	(170)
総人員数	249	262	260	265	254	258	269
除く役員・パート・派遣	196	208	207	207	198	196	208

前年に引き続き新商品のレンタル備品化を積極的に実施

2006/12期 次年度全社損益予想

(百万円)

	06/12		07/12		前年比較	
	実績		計画		増減額	伸び率
売上高	6,928	100.0%	7,300	100.0%	372	5.4%
売上総利益	3,001	43.3%	3,200	43.8%	199	6.6%
販売管理費	2,047	29.5%	2,200	30.1%	153	7.5%
営業利益	954	13.8%	1,000	13.7%	46	4.8%
経常利益	1,001	14.4%	1,050	14.4%	49	4.9%
税引前当期純利益	994	14.3%	1,050	14.4%	56	5.6%
当期純利益	578	8.3%	610	8.4%	32	5.5%
1株当たり利益(円)	101.36	1.5%	106.87	1.5%	5.51	5.4%
為替レート(US\$)	117.9		120.0		2.1	1.8%

2006/12期 次年度売上予想

(百万円)

	06/12 実績	07/12 計画	前年比較	
			増減額	伸び率
生体機能補助・ 代行機器	1,574	1,619	45	2.9%
生体情報計測・ 生体情報モニタ	503	531	28	5.6%
その他商品	991	1,150	159	16.0%
IMI商品小計	3,068	3,300	232	7.6%
旧子会社等取扱商品	791	668	123	15.5%
レンタルサービス	1,608	1,760	152	9.5%
メンテサービス	1,461	1,572	111	7.6%
合 計	6,928	7,300	372	5.4%

07重点活動
人工呼吸器・麻酔器の新商品拡販
新型モニター拡販
臨床検査機器等新商品の拡販
病院数・契約期間・契約台数等の増加
納入品の保守契約率の増加

2006/12期 2007年以降のV字回復につながる成果

浜松ホトニクス社と赤外観察カメラシステム・PDEの独占代理店契約を締結し新発売(06/1)

PDEは内眼では見えない近赤外像を観察でき、色素(インドシアニン)を併用した血管造影によって乳癌リンパ節隔清における範囲の確認や心臓バイパス術時に血管縫合具合の確認などの臨床応用に注目のカメラシステム。



【 PDE (Photo Dynamic Eye) 】

2006/12期 2007年以降のV字回復につながる成果

仏・エアロックス社の在宅用人工呼吸器レジェンドエアの新発売(06/1)とレンタル市場の開発に成功

レジェンドエアは従来のピストン方式の在宅用人工呼吸器では充分対応できなかった大きな自発呼吸にも楽々対応できる200L/分のハイフローを供給。

30dB Aの静粛さ、バッテリー内蔵(6時間作動)、換気量モニタ搭載といった特性により、院内から在宅まで、急性期から慢性期まで、従量式・従圧式からNPPV(非侵襲的陽圧換気)まで幅広く使用可能。



【 レジェンドエア 】

2006/12期 2007年以降のV字回復につながる成果

メトロニック社の除細動器メンテナンスサービス受託契約を締結

米国メトロニック社製体外式除細動器の病院向け独占販売(06/9～)とメトロニック社が日本で販売した除細動器の全ての保守サービスを受託する(06/10～)契約を締結。



【 LP12B 】

2006/12期 2007年以降のV字回復につながる成果

SSRエンジニアリング社から血小板凝集能装置事業を買収し 自社製造を開始

昨年10月31日をもってSSRエンジニアリング株式会社から血小板凝集能測定装置の製造販売に関する全ての事業を譲り受け、今年1月より自社製造販売を開始。

SSR社の血小板凝集能測定装置はこれまでも国内トップの売上を上げており、当社のサービスプラットフォームを活用することで今後のさらなる発展が見込まれる。

日経産業新聞 2007年1月26日 金曜日
NIKKEI BUSINESS DAILY

血小板の凝集能力測定装置
IMI、製販事業買収
SSR社から



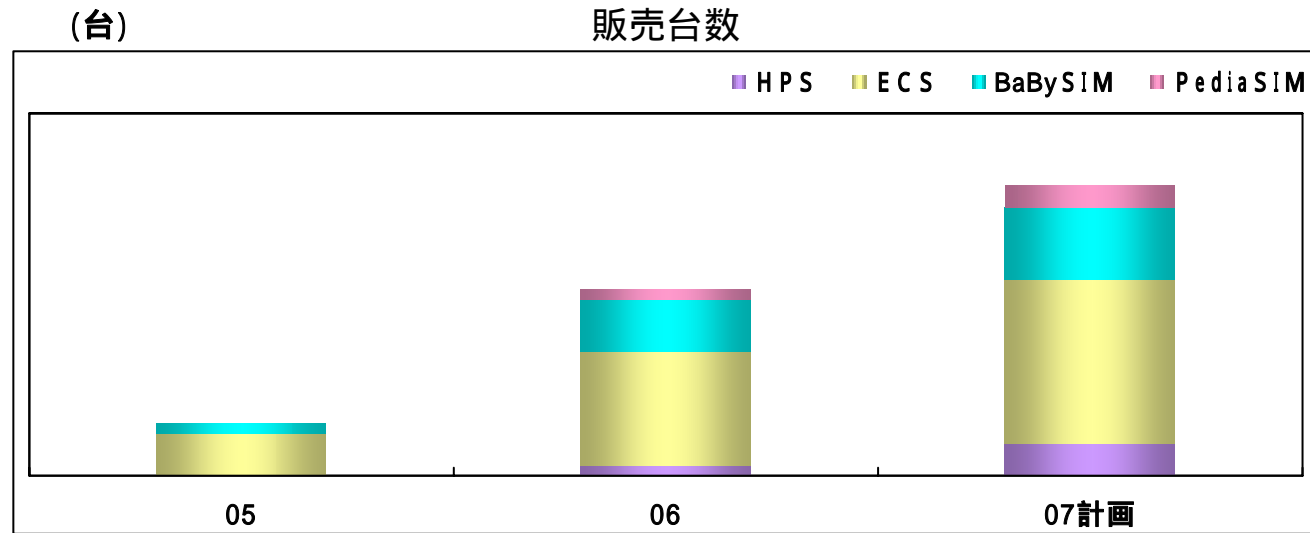
【 PRP313M 】



【 WBAカルナ 】

2006/12期 2007年以降のV字回復につながる成果

METI社製高機能患者シミュレータの本格的な市場開発に成功



【HPSシミュレータ(高機能患者シミュレータ)】

希望小売価格 ¥6,000万



【ECSシミュレータ(救急ケア患者シミュレータ)】

希望小売価格 ¥1,300万



【Baby SIM (患者シミュレータ乳児モデル)】

希望小売価格 ¥900万

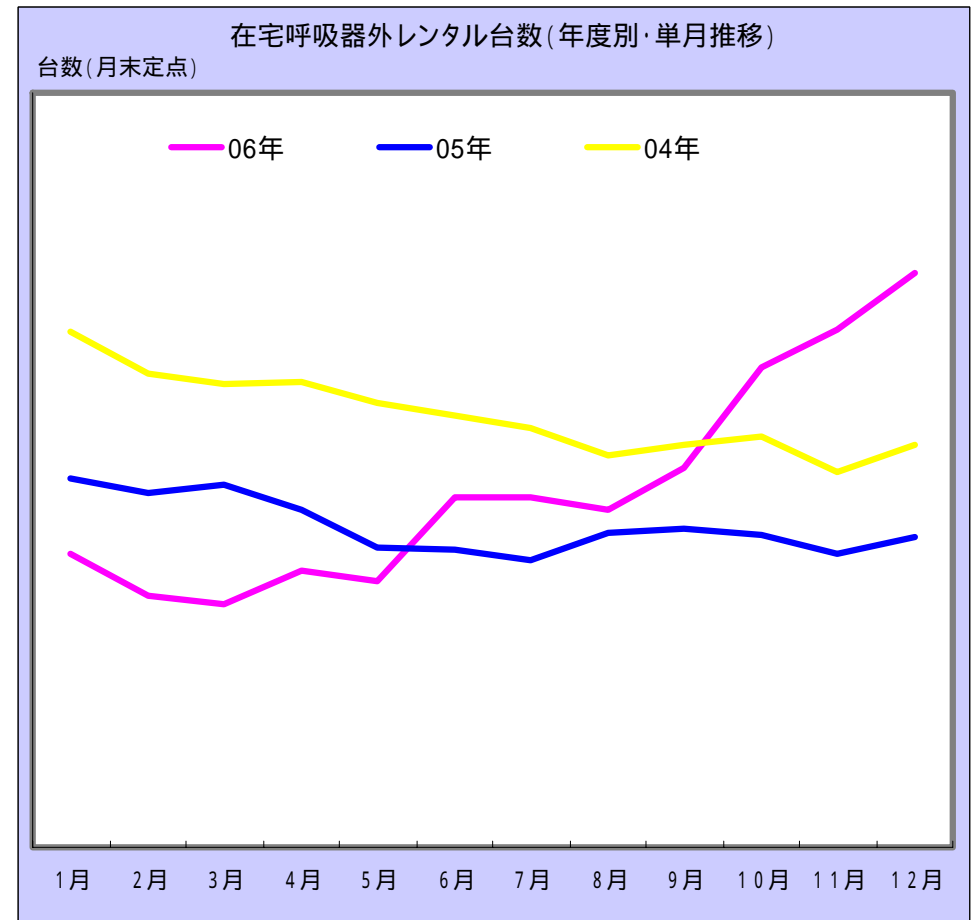
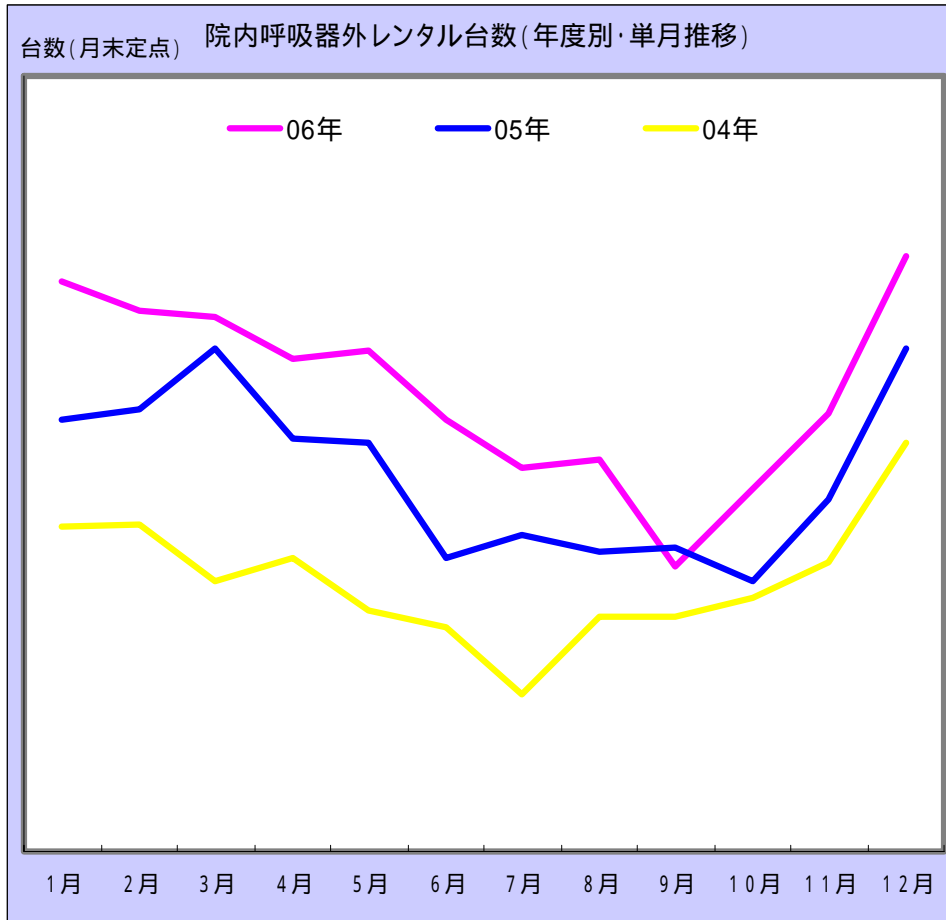


【Pedia SIM (患者シミュレータ小児用モデル)】

希望小売価格 ¥900万

2006/12期 2007年以降のV字回復につながる成果

院内、在宅とも人工呼吸器のレンタルが06後半から急成長



将来にわたる予想の部分につきましては、皆様の投資のご参考資料としてご提供するものです。したがって、当社の推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。予測と異なる結果となる可能性があるということをご了承の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。